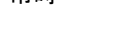


山瀬ダムの洪水調節効果【秋田県】（速 報）

ダムの洪水調節機能(イメージ)

平常時



洪水調節のための空容量

洪水調節前の貯水量

流入量

洪水の一部を貯留
貯留量 80

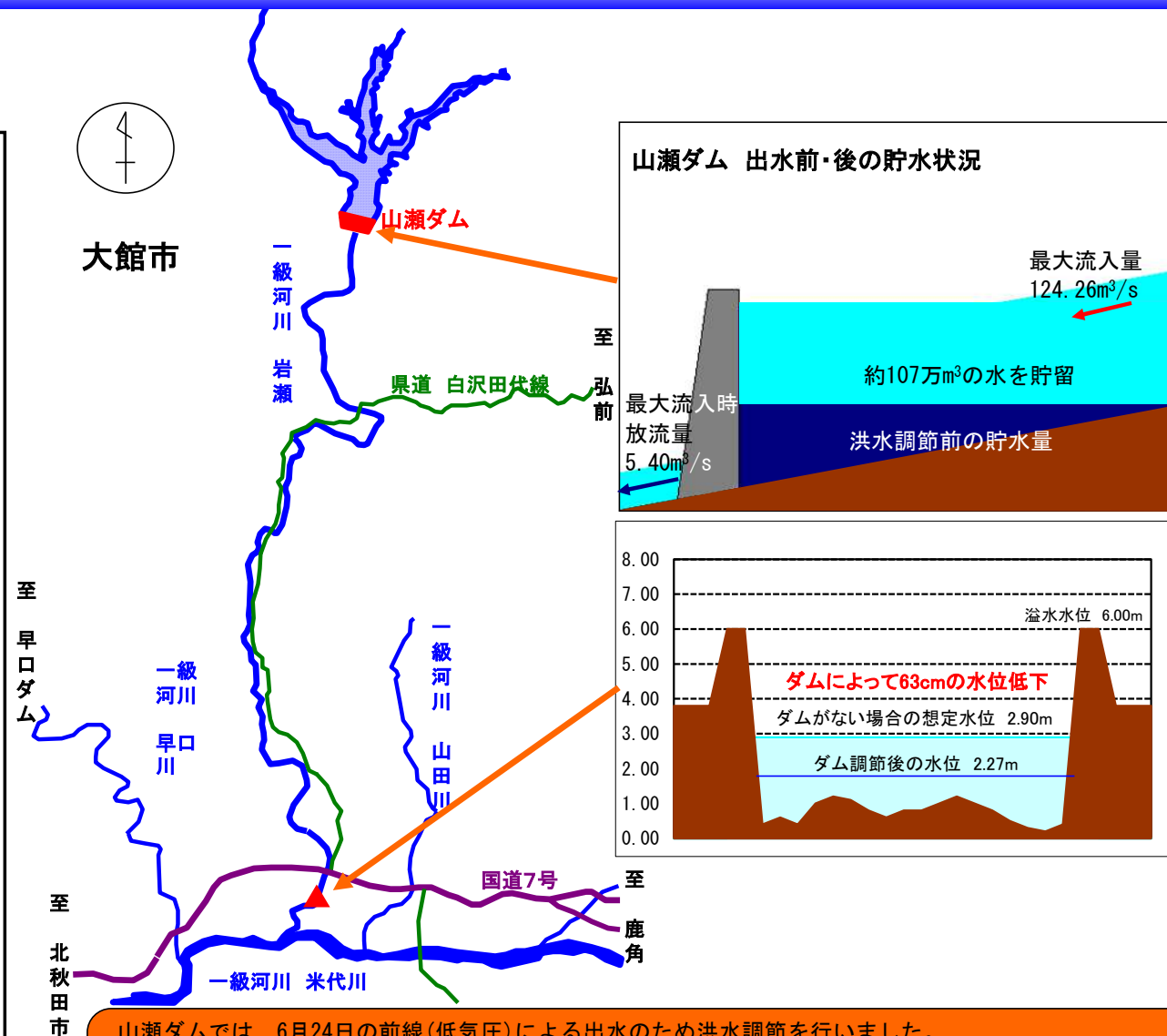
洪水調節前の貯水量

放流量

洪水時に、例えば200流れる水のうち80をダムに貯めダム下流には120だけ流します。

流れている200の水は、そのまま下流に流れていきます。

このイメージでは、ダム下流河川に流れる水量は60%になり、洪水被害を軽減します。



山瀬ダムでは、6月24日の前線(低気圧)による出水のため洪水調節を行いました。
6月24日から降り始めた雨は、最大時間雨量15.6mm、累計雨量は101.1mmとなり、最大流入量は124.26m³/sまで上昇しました。
洪水調節量として107万m³の水を貯留し、岩瀬川 田代大橋水位観測局地点の河川水位を63cm下げました。

山瀬ダムの洪水調節効果【秋田県】（速 報）

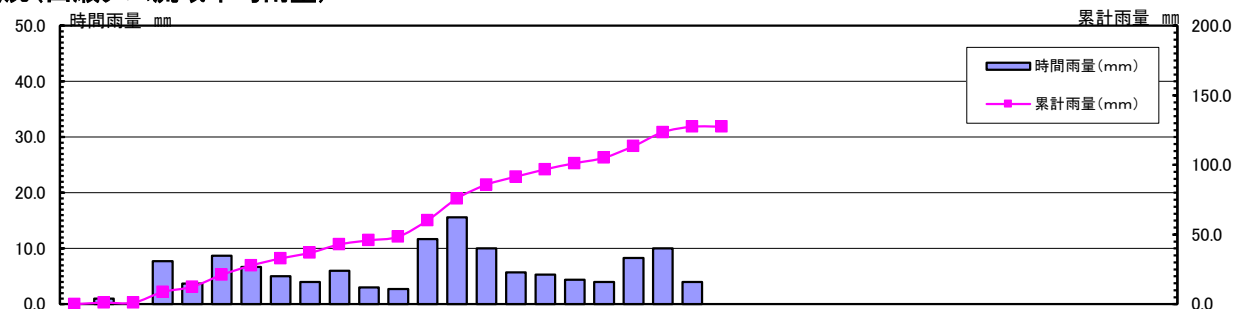
別 紙

※今後の調査により数値等が変わる場合があります。

概要

山瀬ダムでは、6月24日の前線（低気圧）による出水のため洪水調節を行いました。6月24日から降り始めた雨は、最大時間雨量15.6mm、累計雨量は101.1mmとなり、最大流入量は124.26m³/sまで上昇しました。洪水調節量として約107万m³の水を貯留し、岩瀬川 田代大橋水位観測局地点の河川水位を63cm下げました。

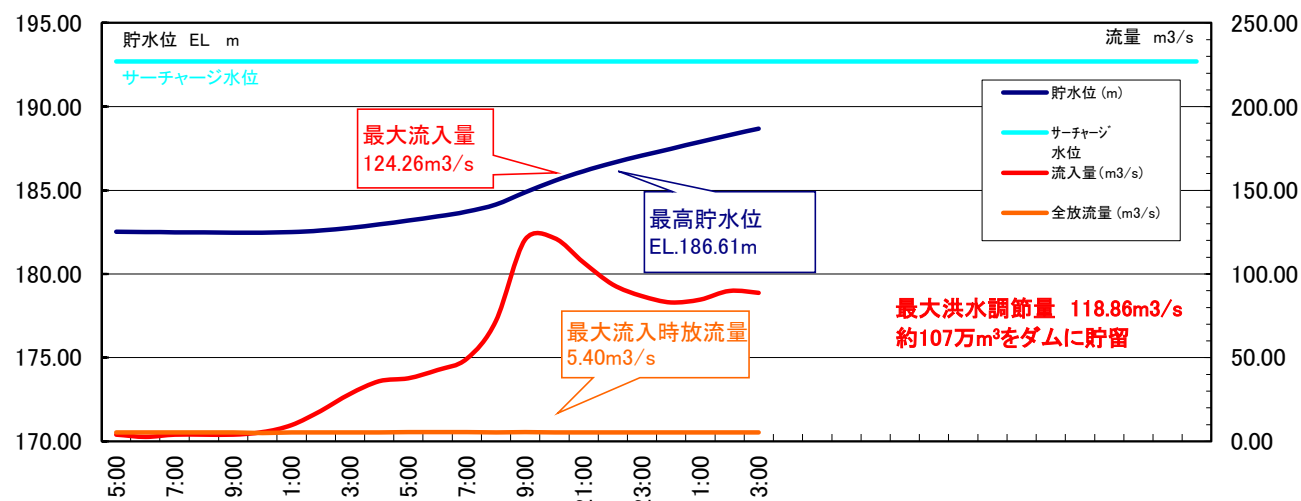
降雨の状況（山瀬ダム流域平均雨量）



気象レーダー （6月24日 18:00）



山瀬ダム 洪水調節の状況



山瀬ダム諸元

河川名	米代川水系 岩瀬川
形式	中央コア型ロックフィルダム
堤高	62.0m
堤長	380.0m
堤体積	1,625千m3
集水面積	67.2km2
湛水面積	0.94km2
有効貯水量	10,900千m3
サーチャージ水位	EL.192.70m
竣工年度	平成3年